

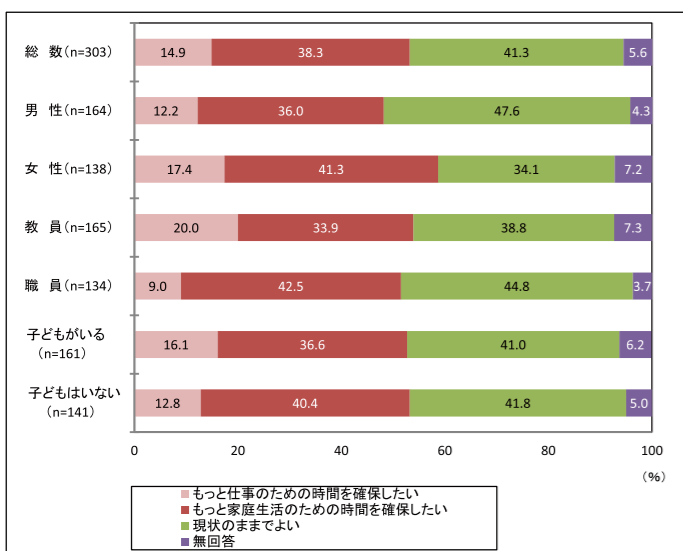
2. 多様な生き方・働き方を実現できる制度の設計

①ワーク・ライフ・バランスに関する多様なニーズの把握

多様なニーズに応えられるように、1月に首都大学東京の教職員を対象にした「ワーク・ライフ・バランスに関するニーズ調査」を実施しました。回答率は30.3%でした。

▼ワーク・ライフ・バランス満足度

(性別、教職員別、研究分野別、子供の有無別)



②女性研究者研究支援員制度の創設と実施

研究支援員制度利用者を募集し、7名を採択しました。

③女性研究者研究支援体制の整備

- ・ダイバーシティ推進室スタッフによる「ダイバーシティ推進室相談」と、専門相談員による「ワーク・ライフ・バランス相談」、「女性の健康相談」を、平成24年度から開始します。
- ・女性教員のメーリングリストを作成し、本格稼働しました。

④保育環境の整備、⑤柔軟な勤務制度の検討

ワーク・ライフ・バランスに関するニーズ調査の結果を踏まえ、検討を開始しました。

3. 多様性による「新たな知」の創造

①若手女性研究者の研究の活性化

非常勤の女性研究者や女子大学院生へのヒアリングを開始しました。

②女性研究者の裾野拡大

ロールモデル集の作成に向けて、女性研究者へのヒアリングを開始しました。

他機関との連携

①学会・研究会・シンポジウム等への参加

国立女性教育会館NWECフォーラム、筑波大学合同シンポジウム、平成23年度大学職員のための男女共同参画推進研修、「女性の活躍舞台づくり」シンポジウム、2012年精密工学会春季大会シンポジウム「女性が支える精密工学」に参加しました。

②他大学との連携

平成22年度に採択された女性研究者研究活動支援事業「元気！活生き女性研究者・公立大学モデル」を実施提唱している公立大学法人大阪府立大学の女性研究者支援センターとの事業連携について意見交換をしました。



ダイバーシティ推進室 構成員

| | | |
|--------|------------------|--------|
| 推進室長 | 首都大学東京 副学長 | 江原 由美子 |
| 室員 | 都市教養学部 人文・社会 准教授 | 金 侖貞 |
| | 都市教養学部 人文・社会系 教授 | 岡部 卓 |
| | 都市教養学部 人文・社会系 教授 | 浜谷 直人 |
| | 都市教養学部 経営学系 教授 | 村田 啓子 |
| | 都市教養学部 理工学系 教授 | 海老原 充 |
| | 都市教養学部 理工学系 教授 | 可知 直毅 |
| | 都市環境学部 教授 | 竹宮 健司 |
| | システムデザイン学部 教授 | 串山 久美子 |
| | 健康福祉学部 教授 | 安達 久美子 |
| | 国際センター センター長 | 青村 茂 |
| 専任スタッフ | 男女共同参画推進担当 | 太田 恭子 |
| | 障がいのある構成員支援担当 | 塚本 鶴樹 |
| | 女性研究者支援担当 | 島 直子 |

平成23年度文部科学省 科学技術人材育成費補助金 女性研究者研究活動支援事業
「ダイバーシティを理念とする首都大学東京女性研究者支援事業」
平成23年度事業報告書 (概要版)

発行：公立大学法人 首都大学東京
連絡先：首都大学東京 ダイバーシティ推進室
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 2号館206号室
電話：042-677-1111 (内線1943) FAX：042-677-1153
E-Mail：diverwww@tmu.ac.jp
URL：http://www.comp.tmu.ac.jp/diversity/
発行日：平成24年3月30日

※報告書(全文)の閲覧を希望される方は、ダイバーシティ推進室までお申し出下さい。

平成23年度文部科学省 科学技術人材育成費補助金 女性研究者研究活動支援事業
「ダイバーシティを理念とする首都大学東京女性研究者支援事業」

平成23年度事業報告書 (概要版)

首都大学東京 ダイバーシティ推進室

1. ダイバーシティ実現のための意識啓発と環境改善

①意識啓発

- ・2011 年 10 月にダイバーシティ推進室のホームページを公開しました。さらに、SNS サービスを含む女性研究者研究活動支援サイトを構築しました。(4月以降に公開予定)
- ・2011 年 11 月にキックオフシンポジウム「ダイバーシティとポジティブ・アクション」を開催しました。
- ・2012 年 1 月にダイバーシティ推進室フォーラム「支援で拓く未来の研究力」を開催しました。



・2011 年 12 月にニュースレター「ダイバーシティ通信」第 1 号を、2012 年 3 月に第 2 号を発行しました。



「ダイバーシティとポジティブ・アクション」

基調講演「ダイバーシティとポジティブ・アクションー学術分野の男女共同参画問題を中心にー」

辻村 みよ子 氏 (東北大学大学院 法学研究科 教授)



「ダイバーシティを理念とする首都大学東京女性研究者支援事業の概要」

江原 由美子 (首都大学東京 副学長、ダイバーシティ推進室長)

パネル・ディスカッション「ポジティブ・アクションと公平性」

- <パネリスト>
- 辻村 みよ子 氏
 - 石川 知広 (首都大学東京 人文・社会系 教授)
 - 岡部 卓 (首都大学東京 人文・社会系 教授)
 - 宇治 公隆 (首都大学東京 都市環境学部 教授)
 - 串山 久美子 (首都大学東京 システムデザイン学部 教授)
- <コーディネーター>
- 江原 由美子



「支援で拓く未来の研究力」

講演「女性研究者の支援」

都河 明子 氏 (国際女性技術者・科学者ネットワーク 日本会長 / 前 東京大学男女共同参画室 特任教授)



▼フォーラム終了後に、懇親会を開催しました。



「女性研究者研究支援員制度について」

島 直子 (首都大学東京 ダイバーシティ推進室 女性研究者支援担当)

パネル・ディスカッション「支援で拓く未来の研究力」

- <パネリスト>
- 都河 明子 氏
 - 綾部 真雄 (首都大学東京 人文・社会系 准教授)
 - 阿部 穰里 (首都大学東京 理工学系 助教授)
 - 海野 るみ (首都大学東京 国際センター 留学生相談員)
- <コーディネーター>
- 江原 由美子



②勤務環境の改善、③女性研究者の雇用促進

全教職員を対象にした「ワーク・ライフ・バランスに関するニーズ調査」において、勤務環境についての調査を行うとともに、学部・系ごとの「女性研究者雇用促進及び環境改善計画」を策定しました。以下は計画の一例です。

- 【女性研究者環境改善】
- ★部局内に、ダイバーシティ推進WG、あるいはダイバーシティ推進委員会を設置し、環境改善について検討する。
 - ★ダイバーシティ推進室と連携して、妊娠・出産・育児等のライフイベントに対する周囲の理解と相談体制の整備、充実を図る。
 - ★会議を夜間にかからないような時間までに終了するように努力する。
- 【女性研究者雇用促進】
- ★女性研究者の採用状況を把握し、女性研究者の雇用促進に向けて、その対応策を検討する。
 - ★教員公募の際には、学会などの場を通じて女性研究者に積極的に周知し、優秀な女性教員の発掘に努める。
 - ★教員の人事選考における研究実績の評価については、出産・育児・介護等による制約について配慮するよう検討する。